

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日																														
登録診療科	内科	申請医師																														
レジメン名	ダカルバジン(肉腫)(ホスアプレビタント)																															
疾患名	肉腫(軟部腫瘍)	適応の備考																														
適応分類																																
1コース日数	28 日間	総コース数	コース 催吐性リスク 高度																													
抗がん剤投与量・投与日 〓ダカルバジン200mg/m ² day1-5																																
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)																																
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																											
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body	30 分	●																											
2	主ルート	ハロセトロン注バック0.75mg	1 本 / body		●																											
	点滴静注	デキサート注6.6mg デキサート注1.65mg	1 本 / body 2 本 / body	30 分	● ●																											
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body			●			●																							
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分		●			●																							
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body				●	●																								
	点滴静注	デキサート注6.6mg	2 本 / body	30 分			●	●																								
5	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																							
	点滴静注	ダカルバジン注 注射用水20mL	200 mg / m ² 2 本 / body	5 分	●	●	●	●	●																							
6	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●	●	●	●	●																							
	点滴静注		/																													

【投与上の注意】

- ・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
 - ・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
 - ・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
 - ・デキサート量はダカルバジンを5日間連続投与するので、day1のみ抗がん剤を投与するレジメンの場合と異なる。
 - ・高度催吐性リスクの抗がん剤を5日間連続投与するので、患者の嘔気状況に応じて制吐剤の追加投与を考慮する。
- ダカルバジン:希釈後は要遮光。点滴ルートも遮光する。